

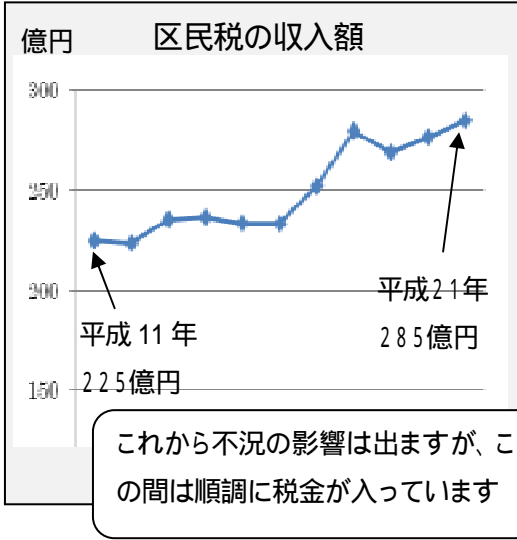


日本共産党文京区議会議員  
**まんぢ幹夫** 週刊 通信  
 2010年10月1日号 No.162

**'みなさんをいつもまんやかに'**

区議団控室：5803-1317（直通）  
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7  
 ・fax 3868-8355  
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》



2009年度の決算審査特別委員会が始まりました  
**“財政が厳しい、大変だ”……しかし昨年の区民税収入もこの十年間の平均を大きく上回っている**

28日から、区議会「決算審査特別委員会」が始まりました。昨年度の決算の収入、支出それぞれを7日間かけて審議します。

初日は各党派からの総括質疑。その後、項目ごとに審議します。「特別区民税」の昨年の収入は、約285億円。この十年間の平均が252億円ですから、きわめて「順調」です。（世界金融危機の影響が今年の税金収入に現れませんが）。これは、不況の中でもがんばって区民が税金を納めているから。

一方で滞納が増えています。5年前と比べて1・7倍に。とくに住民税非

**児童数が増えてにぎやかに  
 秋の運動会**

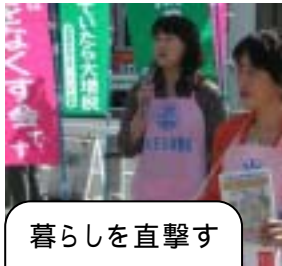
先週末は各校で運動会が開かれました。土曜日は朝のうち雨でしたが、柳町小では時間を遅らせて開催。昼にはすっかり青空に。早朝から保護者が校庭に土を運んでグラウンドを整備したそうです。

日曜日は礪川小に。この日は朝から快晴。それにしても児童数が増えました。数年前の「統廃合計画」を許さなかったことは、やはり区民の良識でした。文科省も少人数学級の必要性を認め、いよいよ具体化の方向です。さらに教育環境の整備をもとめます。



全児童で準備体操。増えましたね～

課税世帯とのギリギリにある方々が、税負担を重く感じ、応なしに納められないという状況になっていると推測できます。「所得階層別の滞納状況は？」と質問しても、区からの回答は「データがありません」でした。税金の徴収率の高さを誇るのではなく、税金や保険料など社会保障のための支払いが暮らしを圧迫している現状にも目を向け、改善することが今こそ大事です。



暮らしを直撃する消費税の値上げはストップを

**負担重い低所得層の対策を**

**まんぢ幹夫日誌**

- 25日 午前、柳町小学校の運動会へ。昼、「赤旗日曜版」の配達。汗だくで配った先週がウソのように、爽やかでした。
- 午後、養生会の組合員拡大の「スタート集会」に。ひとりぼっちの高齢者をつくらないためにも、医療生協の役割は大きいです。
- 26日 朝、礪川小の運動会。午後からは火曜日から始まる決算委員会の準備で夜まで区役所に。
- 27日 午後2時から区議会本会議。条例案、補正予算案など議決がおこなわれました。共産党区議団は、「やまびこ荘廃止条例」と「後期高齢者医療特別会計補正予算」に反対しました。翌日から決算委員会です。

裏面に学校施設調査の結果を表にしました。ご覧ください。